

# 今後の科学技術・イノベーション政策の方向性について

---



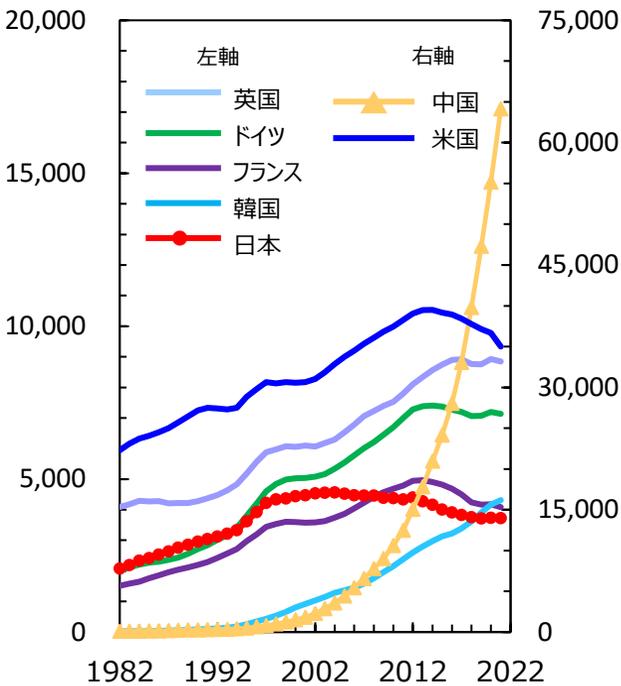
2025年4月23日  
内閣府特命担当大臣  
(科学技術政策)



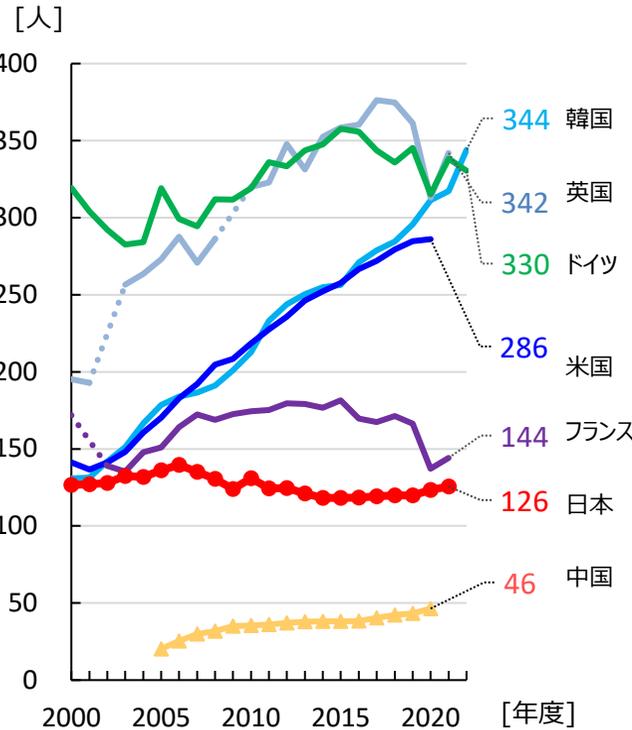
# 1. 我が国の科学技術・イノベーションを取り巻く情勢

- 科学技術・イノベーションは、国力の源泉であり、経済成長を加速させ、社会課題を解決する原動力である。
- その基盤となる研究力の強化は重要な課題であるが、トップクラス論文数等の指標で見ると、我が国の国際的な順位が下がっている状況。また、博士号取得者数は近年増加しつつあるが、諸外国とは差がある状況。
- 大学等における民間企業からの共同研究の受入れ額が増加するなど、産学連携は徐々に進展している状況。

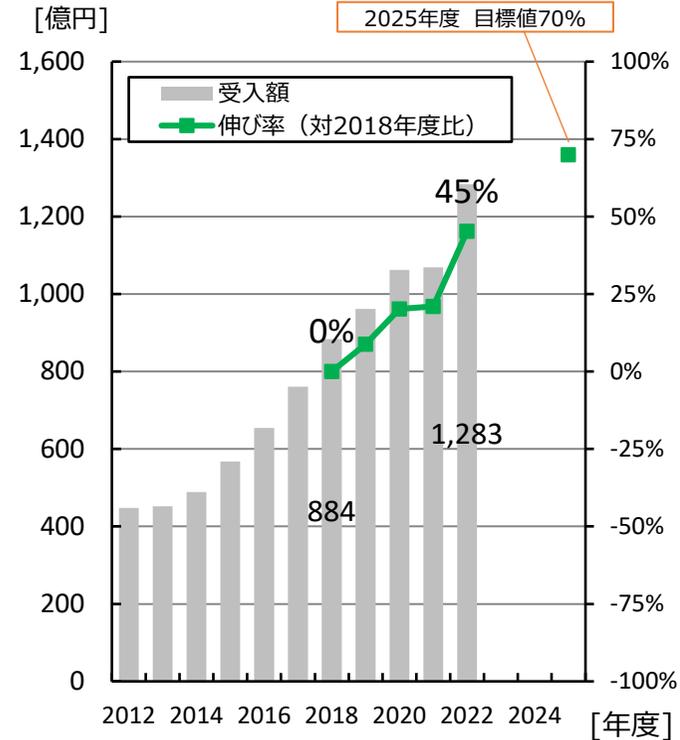
## トップクラス論文数※の推移



## 人口百万人あたりの博士号取得者数の推移



## 大学等及び国立研究開発法人における民間企業からの共同研究の受入れ額



※被引用数が各年各分野の上位10%に入る論文数 (Top10%補正論文数)  
(分数カウント法・全分野を対象に集計した結果)

出典：文部科学省 科学技術・学術政策研究所「科学技術指標2024」(調査資料-341)を基に作成

(出典) 大学等：文部科学省「大学等における産学連携等実施状況について」、  
研究開発法人：内閣府科技による「独立行政法人等の科学技術関係活動等に関する調査」を基に作成

## 2. 「統合イノベーション戦略2025」に向けた方向性

- 「統合イノベーション戦略2025」は、第6期「科学技術・イノベーション基本計画」（2021～2025年度の5カ年）の5年目の年次戦略であるとともに、第7期基本計画のスタートを見据えた重要な戦略となるもの。
- 国内外の情勢変化や科学技術・イノベーションを巡る動向等を踏まえつつ、第6期基本計画の総仕上げとすべく、「先端科学技術の戦略的な推進」、「知の基盤と人材育成の強化」、「イノベーション・エコシステムの形成」の3つの柱で取組を加速していくとともに、第7期基本計画に向けた議論の内容も踏まえ、早急に着手すべき課題や取組にも対応していく。

### 第6期基本計画の総仕上げとしての取組の更なる加速

#### 先端科学技術の戦略的な推進

- ✓ AIのイノベーション促進とリスク対応の両立、次世代情報通信基盤の開発
- ✓ 量子、フュージョンエネルギー、マテリアル等の研究開発の加速
- ✓ K programによる研究開発支援、安全・安心シンクタンク設立の具体化
- ✓ 災害対応力強化に向けた研究開発の推進 等

#### 知の基盤（研究力）と人材育成の強化

- ✓ 国際卓越研究大学の第2期公募・助成
- ✓ 地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージによる支援
- ✓ 博士人材の活躍に向けた産学官連携プラットフォームの推進 等

#### イノベーション・エコシステムの形成

- ✓ SBIR制度等を通じた支援
- ✓ スタートアップ・エコシステム拠点都市のグローバル化支援
- ✓ グローバル・スタートアップ・キャンパス構想の推進 等



### 第7期基本計画に向けた議論の内容も踏まえた対応

#### 経済安全保障との連携強化

- ✓ 重要技術の研究開発やグローバル戦略の推進、研究セキュリティ・インテグリティの確保 等

#### 研究力の強化・人材育成

- ✓ 国際頭脳循環や若手研究者支援を始めとする研究基盤の強化 等

#### イノベーション力の向上

- ✓ 地域イノベーション、知財・国際標準化戦略の推進、研究開発投資の促進 等

### 3. 先端科学技術の戦略的な推進の方向性

- 科学技術の急速な進展により、基礎研究の成果が迅速に社会実装されるようになり、地方への波及も含めて、科学技術が経済・社会や国民生活に与えるインパクトが拡大している。
- 世界の安全保障環境が厳しさを増す中で、先端科学技術を巡る主導権争いは激しさを増しており、AI、量子、フュージョンエネルギー、マテリアル、宇宙、健康医療等の重要分野を戦略的に推進していく。

#### AI

- **「世界で最もAIを開発・活用しやすい国」を目指す**
  - AI法案の早期成立。これによりAIの研究開発と活用を総合的かつ計画的に推進
  - AI戦略本部の設置による司令塔機能の強化
  - 政府が推進すべきAI政策の基本的な方針を定めた「AI基本計画」の策定
  - AIの適正性確保のための国際規範に即した「指針」の整備 等

#### 量子技術

- **量子技術における我が国の技術的優位性を保ちつつ、量子産業エコシステムの構築を目指す**
  - 量子コンピュータの利活用を進めるため、G-QuAT等の活用拡大によるユースケース創出やビジネスモデル構築の推進
  - 次世代技術の国際的ルール形成に向けた国際標準化の戦略的推進をはじめとする、国際戦略の推進
  - 量子産業の創出に資する先端技術開発やグローバルに活躍できる量子人材育成の推進 等

#### フュージョン (核融合) エネルギー

- **フュージョンエネルギーの早期実現・産業化の実現、2030年代の発電実証を目指す**
  - 新たな国家戦略に基づき、社会実装を促進する取組の在り方について検討を加速
  - ITER計画等の知見や新興技術を最大限活用し、原型炉の工学設計や実規模技術開発を加速
  - QST等のイノベーション拠点化を推進し、フュージョン産業エコシステムを構築 等

### 3. 先端科学技術の戦略的な推進の方向性

#### マテリアル

- 我が国の基幹産業であり、幅広い分野のイノベーションを先導するマテリアル分野において勝ち続ける
  - 革新的マテリアルの研究開発・社会実装の加速
  - マテリアルDXの更なる推進や産学官の多様なプレーヤーの連携強化による、イノベーションの加速
  - 研究環境整備、人材育成、卓越したサイエンスによる、イノベーションの継続的な創出 等

#### 宇宙

- 宇宙産業の拡大と基盤強化との好循環を実現し、自立した宇宙利用大国となることを目指す
  - 宇宙戦略基金による、民間企業等の大胆かつ柔軟な研究開発への支援の加速
  - 国際競争力につながる民間企業による新たな宇宙輸送等を実現可能とするための制度環境の整備
  - 準天頂衛星システムの7機体制の構築と11機体制に向けた開発
  - 安全保障、防災・減災等役割の拡大する宇宙航空研究開発機構（JAXA）の技術基盤の強化
  - 世界的な宇宙利用の拡大に対応した円滑な審査や準天頂衛星システムの持続的な運用を可能とする政府側の推進体制の強化 等

#### 健康医療

- 創薬力や感染症対応等を強化し、創薬・医療機器創出エコシステムの構築を目指す
  - AI創薬・医療研究DXの推進と絶え間ないシーズ創出による転換期の創薬力等の強化
  - エビデンスに基づくヘルスケアサービスの研究開発・実用化の強化による国民の健康増進
  - 感染症危機対応医薬品やバイオ医薬品等の研究開発、製造体制の強化による健康安全保障の確保 等